金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	06500001
授業科目名(Course name)	ピアノ指導法（１）		
担当者(Instructors)	飯田 真樹,柿沼 涼子,西岡 章子		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音２	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	後期 木曜２限	担当形態 (Instructor format)	オムニバス
実験実習費（円）(Experiment/training fee (yen))		履修者数上限（名）(Maximum number of students)	

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

将来ピアノ講師として生徒の指導に携わるにあたり、「幼児期の指導」を中心にレクチャーと演習を行う。
【実務経験】民間の大手音楽教室の講師育成、教材開発に携わり、自らも幼児～児童向けのメソッド発表している教員が、その経験を生かして、幼児期の指導のありかたと魅力あるレッスンについて実習を通してレクチャーする。

■到達目標(Course goals)

幼児期のピアノメソッドを実践的な観点から研究し、活用できる能力を身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

ピアノ講師、音楽教室講師を目指す者。

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。　○

２．汎用的技能

日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。　◎

音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。　◎

■授業計画(Lesson plan)

1. 担当：飯田真樹 自分が受けてきた教育と現在の自分、あるべき幼児期の指導を考える
2. 担当：飯田真樹 指導実習～指導経験を持つ（バイエル選択者）
3. 担当：飯田真樹 指導実習～指導経験を持つ（ミッフィーレパートリー選択者）
4. 担当：柿沼涼子 バスティンメソッド１～バスティンメソッドの歴史と理念
5. 担当：柿沼涼子 バスティンメソッド２～ピアノパーティの内容について
6. 担当：柿沼涼子 バスティンメソッド３～ベーシックの内容について
7. 担当：柿沼涼子 バスティンメソッド４～バスティンメソッドと日本のピアノ教育
8. 担当：飯田真樹 ミッフィーのぴあの絵本を用いた２・３歳児のピアノレッスン～ドを教えるまで

9. 担当：飯田真樹 ミッフィーのぴあの絵本を用いた２・３歳児のピアノレッスン～レッスン映像から学ぶ
10. 担当：飯田真樹 ピアノレッスンにおけるリトミックの活用　※ゲストスピーカーを予定
11. 担当：飯田真樹 ミッフィーのぴあの絵本を用いた２・３歳児のピアノレッスン（こうしん、どれみ）
12. 担当：飯田真樹 ミッフィーのぴあの絵本を用いた２・３歳児のピアノレッスン（じぐざぐみち）
13. 担当：飯田真樹 ミッフィーのぴあの絵本を用いた２・３歳児のピアノレッスン（おはなをそだてる）
14. 担当：飯田真樹 耳からの導入と段階的で無理のないレパートリー指導
15. 担当：飯田真樹 指導実習～耳からの導入による各種指導手法

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

指導法に関するレポート作成、模擬レッスン実習の準備等に６０時間以上の授業外学修時間を要する。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は授業内で適宜指示する
フィードバックは授業内で行う。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

授業内で適宜指示する

■評価方法(Evaluation method)

指導実習の評価　20%

授業の取り組み姿勢　40%

レポートの内容　40%

グループで指導実習を行うため、授業欠席は実習への不参加及びグループの学生に対して迷惑をかけることとなるため、減点の対象とする。

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業後に対応